

オブジェクト指向で はじめる プログラミング

レッツトライ

今回紹介したプログラムはコメントの形式や空行、インデントなどを紹介するためのプログラムですから、少しでもプログラミングをした経験がある人にとっては“カンタンすぎる”かもしれません。そのような方は、次の3つにトライしてみてください。

Try 1

前回の「こんにちワン」プログラムで、「こんにちワン」オブジェクトを扱うクラスを作ってみましょう。まず、データとして文字列（「こんにちワン」と、それを表示するためのコード（メソッド）を持つクラス（たとえばHelloStringクラス）を作り、そのクラスのインスタンスを作ってからメソッドを呼び出すことで、前回の「こんにちワン」プログラムと同じように「こんにちワン」を出力するプログラムを作ってみましょう。

Try 2

今回のサンプルを改良して、引数のないデフォルトコンストラクタを使ってインスタンスを作ったあとで、作成したオブジェクトにデータを保存できるようにしてみましょう。

Try 3

今回のサンプルを改良して、より高度な暗号化のアルゴリズムを実装してみましょう。暗号化するにはさまざまな方法があります。比較的簡単に実現できるのは、文字コードの値を一定の数だけ増やす「シーザー法」と呼ばれている方法です。たとえば、文字コードの値を“3”だけ増やすとすると、文字列「Kids」は暗号化されて「Nlgv」になります。

これらの回答例はdotNET マガジンサイトからダウンロードできます。



トラブルシューティング

今回のサンプルをコンパイルした際に、以下のようなエラーが発生した場合、解説を読んで修正し、再度実行してみてください。

Try 1

「コンパイラエラー CS0122'member'はアクセスできない保護レベルになっています。」

コンストラクタやEncodeメソッドのように、クラスの外からアクセスするメンバにはpublicを付ける必要があります。publicを付け忘れると、上記のコンパイラエラーCS0122が報告されます。なお、アクセスの範囲を指定するアクセス修飾子にはpublic

のほかに、protected、internal、protected internal、privateもあります。

Try 2

「コンパイラエラー CS2001ソースファイル'file'が見つかりませんでした。」
「コンパイラエラー CS2008入力が指定されていません。」

cscを起動したときに引数で指定するべきソースコードファイルが指定されていないか、指定したファイルが存在しないか、指定したファイル名が間違っています。

